

日	々	の	
暮	ら	し	に

香川芳子

女子栄養大学学長

子どものころから「本の虫」です。家の蔵に入り込んで、手当たりしだい読んでいました。母から呼ばれても窓から出て屋根に登り、読みふけていました。雑誌の『主婦之友』、わからないなりに字を追ってゲーテの『ファウスト』や二葉亭四迷、日本文学全集も読破しました。当時はすべて読み仮名がふってありましたが、意味はわからなくても読むことができました。楽しい思い出です。

小学校でも教室に備えつけの本は全部読みました。児童書でも特に動物物語はおもしろく、何回も読みました。地球上に暮らす同じ生物として人間の行動に思いをめぐらすことができます。今でも興味津々です。読書が、医学や栄養学といった専門分野だけではない私の世界を広げてくれました。

私には読書の習慣が宝物。学生がどのような本に関心を持つかはわかりませんが、さまざまなジャンルの本20冊を推薦し、1年生の前期に読書レポートを課して5冊分の読書レポートを提出させます。若い時期に本に親しむことで視野を広げ、生きる世界を広げてほしいと願うからです。

私は「本の虫」です
読書の習慣が
生きる世界を広げます

